

2019年度 前期授業評価アンケート 顕彰科目担当教員コメント

教員名	中 善則
顕彰科目名	教職概論（中等）・教職概論（初等）
<p>●授業運営において工夫されている点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開講時に簡単なゲームを行い、その結果により、座席指定・班編制をしました。 ⇒知らない者どうしで、座ることになり、初めの頃は辛かったと思いますが、 班内での交流を大切にして、自分たちで、学ぶ雰囲気をつくることを、繰り返し求めました。 ・ できるだけ、毎時間、班で議論ができるような内容・展開となるよう授業構成を考えました。 学生も、他人の意見を聞く楽しみを実感し、さらに、雰囲気づくりにより、自分の意見を話せるように成長していったくれたように思います。 (中等) の受講生は、丁寧に相手の話を受けとめる姿が目につきました。 (初等) の受講生は、活発に語りかける姿が目につきました。 ・ この講義では、可能な限り、学校現場の生の様子が伝わるように、ビデオ鑑賞や現職教員の講話などを聞く時間をとりました。学生のそれらから学ぼうとする姿勢は素晴らしかったです。 ・ 現場教員への講話内容（大阪市立白鷺中学校 青木信一先生）についての感想を書く機会をつくりました。みなさんのコメントが、単にお礼や礼賛でなく、さらなる質問や疑問、批判もあり、意識高く学んでくれたことがよくわかりました。講師も大変、喜んでいました。 ・ (初等) の授業では、元大阪府小学校長 高畑誠治先生の話も熱心に聞き、授業後にも質問をする学生の姿も見かけました。その態度、本当にステキでした。 ・ 授業終了時に、「ふりかえりシート」を配布、本時の内容に関して、意見・疑問・質問・教員の見解に対する批判・授業に関する要望、そして、グループワークに関して、他の学生へのコメント（相互評価）を記入してもらい、主な意見を次の時間に紹介しました。 また、私に対する問いかけ等が書かれている場合は、できるだけ返事を書きました。 ⇒学生は、丁寧にふりかえりシートを記入してくれました。なぜ、授業内容を「ふりかえる」必要があるのか、実感してくれていたらうれしいです。 ・ 欠席は原則として認めず、休む場合は、メール連絡を必須としました。 ⇒結果、ほとんどの学生は欠席せず、もし、休んだ場合も、本時の内容、次時までにしておいてほしいことなどの連絡ができました。 <p>●今後取り組んでいこうと考えておられることなど</p> <p>班活動だけでなく、全員での議論の工夫も考えていくべき課題だと思っています。</p>	